

1. 科目名 (単位数)	生活 (小) (2 単位)	3. 科目番号	EDEL2308 EDEL3308
2. 授業担当教員	沼澤 清一		
4. 授業形態	プレゼンテーション、ディスカッション、グループ学習、フィールドワーク、講義等	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	身近な人や社会、自然と直接かかわる具体的な活動や体験の中で、幼児・児童等に生まれる気づきの重要性を理解する。日常生活の中で感じる興味、関心から、自分自身や自分の生活について考えさせ、その過程を通して、基本的な生活習慣、思考力、理解力、社会性を育成する。また、地域の環境や幼児・児童等の発達段階に応じた生活教育のあり方について学ぶ。これらを通じて、児童の自立の基礎作りを行うための指導について、求められる生活科の授業実践の力量(授業力)を身に付けることができるようにする。		
8. 学習目標	1 生活科の活動の構成原理を学び、生活科の趣旨や目標、内容に関するポイントが説明できるようになる。 2 子どもは、普段どんな人々と関わり、何に興味を持っているか、普段の生活の様子を観察することを通して知り、発表できるようになる。 3 身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりして、遊びや遊びに使う物を作ることができるようになる。 4 地域調査や生活科で扱う植物・生き物について調べる活動などを通して、それぞれの地域の自然についてその特徴や面白さについて理解する 5 子どもの生活に関係した、効果的な教材を作ることができるようになる。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	【課題レポート】 ・次の1～3を課題レポートとする。 課題1：生活科の学習指導の特質について考察する。 課題2：生活科と幼児教育との関連を考える。 課題3：生活科の教材研究について考察する。 【振り返りシート】「日常の学習状況」に加味する。 講義の終了後、講義によって何が解決され、何が解決されなかったのか、また、自分自身はどのような考えを持ったのかなどについてまとめ、講義終了の3日後までに提出する。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】文部科学省編『小学校指導要領解説 生活科編』日本文教出版、2012年		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 生活科の目標や内容、特徴を理解できているか。 2. 生活科の目標や内容、特徴を理解した上で、自分なりの意見や考えを表現できているか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 1 授業への積極性 (発言等) 総合点の20% 2 日常の学習状況 (出席・提出物) 総合点の30% 3 課題レポート (中間・期末) 総合点の50%		
12. 受講生へのメッセージ	生活科は、小学校入学期の児童にとって他教科との合科の中で中核となる教科と位置づけられています。「学び」のスタートとしての位置づけは、児童に「学ぶことの楽しさ」を実感させる教師の立ち位置を考慮した指導を目指す必要を強く感じます。 主体的・対話的で深い学びを導く教師を目指すためにも、まず自ら積極的に探究的な課題に取り組むように努めましょう。		
13. オフィスアワー	初回授業時に伝える。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション フィールドワークから教材作成(1) 四季の変化 サクラの観察の直接体験を通して生まれる子どもの気づきを導くための教材開発の視点を学ぶ。	事前学習	自分の受けてきた授業(生き物教材)での学習内容・方法について確認しておく。
		事後学習	フィールドワークを通して得た「はてな？」の追究を行う。「はてな？」追究の発表準備を行う。
第2回	授業者としての意識改革:「教える」とは 「カタツムリの発表」の授業記録をもとに子どもの視点から捉える。	事前学習	生活科の学習内容について確認しておく。
		事後学習	自分なりの授業観についての考えをまとめる。
第3回	気づく力を育てる授業づくりとは アサガオ栽培の実践から生活科教育のあり方を考える。	事前学習	アサガオの栽培について教材提示・指導方法について確認しておく。
		事後学習	生活科について教材観・指導観の視点から自分の考えをまとめる。
第4回	フィールドワークから教材作成(2) 春の植物・生き物の教材化 第1回の授業での「はてな？」の追究発表を行う。 「はてな？」を基に、植物内容を全体構成から捉えさせる教材開発について学ぶ。	事前学習	学習指導要領解説の内容項目5を読み、春の植物を教材とする活動を構想する。
		事後学習	学習内容のまとめを行う。 「はてな？」と追究の記録を提出する。
第5回	教育課程における生活科の位置づけと生活科の単元構成 小学校学習指導要領の変遷から考える。	事前学習	学習指導要領を読んでくる。
		事後学習	現代の子どもを取り巻く環境について復習

			する。
第6回	小学校入学期における生活科の位置づけ 小一プロブレム問題から見える入学期の児童対応における生活科の位置づけを把握する。	事前学習	自分の経験を踏まえながら小学校入学期の児童の姿についてまとめておく。
		事後学習	小一プロブレム問題について説明できるようにまとめをしておく。
第7回	幼保教育と小学校教育の違い 教育課程の違いから捉えられる子どもの学びと指導法	事前学習	自分の経験を踏まえながら幼児教育での幼児の姿についてまとめておく。
		事後学習	比較を通してそれぞれの長所についてまとめておく。
第8回	生活科の2年間の内容構成・教材研究 生活科の学習内容、目標、学習活動について指導者の視点から捉え、教材研究の仕方を考える。	事前学習	生活科の位置づけについて自分なりの考えをまとめる。
		事後学習	教材研究の仕方について整理しておく。
第9回	生活科教材研究(1) グループで地域を巡り、教材を収集する。	事前学習	街の様子に気を配りながら歩き、情報を収集する。
		事後学習	子どもが発見しそうな物・事に留意しながら街を歩く。
第10回	生活科教材研究(2) グループで地域を巡り、収集したことをまとめる。	事前学習	収集した情報をまとめておく。
		事後学習	発表準備
第11回	生活科教材研究(3) 生活科内容に則して収集した教材についてグループごとに発表する。	事前学習	発表の手順及び内容と方法を考える。
		事後学習	他のグループの発表を聞き、自身のグループのまとめと比較しながら、生活科内容への理解を深める。
第12回	生活科の指導案の書き方・評価の考え方 自分で選択した単元に基づいて指導案のポイントを考える。	事前学習	指導案を作成する単元を決めておく。
		事後学習	評価について、目的・方法を整理する。 他の発表を聞き、参考になった内容・方法や気づいたこと、感想をまとめる。
第13回	学習指導案の検討 作成した指導案を基に、グループで発表しあい、意見を交流する。	事前学習	指導案を作成する。
		事後学習	秋期の生活科指導法まで、分担した取り組みとしてまとめておく。
第14回	生活科と他教科との関連 生活科と他教科・総合的な学習の時間との関連、幼児教育との関連について捉える。	事前学習	グルーでの交流を通して学んだことを取り入れて指導案を修正する。
		事後学習	生活科の意義について、自分なりの考えをまとめておく。
第15回	まとめと課題レポートの発表 生活科で学んだことをまとめたレポートを発表する。	事前学習	生活科のレポート課題をまとめておく。
		事後学習	グルーでの交流を通して学んだことを取り入れてレポートをまとめる。